

9月 は「認知症啓発月間」です



「忘れても 笑顔で暮らせる 街づくり」

2026年度 世界アルツハイマーデー標語

2024年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法(認知症基本法)」が施行されました。

認知症の人が尊厳をもち、希望をもって暮らせる社会の実現に向けて、国の認知症へのこれからの取り組みをあきらかにした法律です。

この法律では、「国民の責務」として、共生社会の実現を推し進めるために必要な認知症に関する正しい知識や、認知症の人に関係する正しい理解を深めるとともに、共生社会の実現に尽くすよう努力する責任があることが定められました。

誰もが認知症の正しい知識を持ち理解することで、偏見や差別がなくなり、認知症になっても安心して暮らせる社会が実現します。

すでに認知症のある人と歩んでいる人も、「まだ認知症ってよくわからないな」と感じている人も、まずは共に考えてみませんか？

9月 は同法で定められた「認知症月間」、9月21日 は「認知症の日」です。

町の取り組み(R8)

①認知症学習会とフェルトで彩る花アート・披露会(9/7)

認知症カフェ「ほっこりカフェ」にて、「もっと知ろう認知症」のテーマのもと、参加者同士でともに学び合います。

また、参加者全員で制作した認知症啓発シンボルカラーのオレンジのフェルトで彩る花アートの披露会を実施します。

②認知症に関する本の展示・貸出 (9/12～10/12：休館日は除く)

町立図書館において、認知症に関する本の展示コーナーを設置します。

ほっこりカフェにて制作したペーパーフラワーでコーナーの装飾を行います。

③認知症普及啓発コーナーの設置 (9/29～10/16：休庁日は除く)

役場エントランスホールにおいて、一人ひとりの希望を大切にする地域づくりを目指し、認知症とともに生きることへの理解や町の取り組みを紹介するコーナーを設置します。